



【水晶製勾玉・切子玉の首飾りが見つかった「立野4号墳」】



写真1 立野4号墳出土 首飾り(松阪市文化財センター所蔵)

水晶製の首飾りが出土したのは、一番南側の埋葬施設です。首飾りを繋いでいた紐は、長い年月を経るうちに朽ち果ててしまったらしく見つかりませんでした。勾玉が先端にきて、それに輪のように連なる形で切子玉が見つかったことから、これらはひとつの首飾りだったと考えられています。

現代を生きる私たちは、首飾りというと金や銀などの貴金属あるいは宝石や真珠などのネックレスを思い浮かべます。そして、それを身につける大きな理由は、自分自身の見た目を飾ることでしょう。しかし、古墳時代を生きた人々が同様の理由だけで首飾りを身につけていたのかというと、そうとはいい切れません。なぜなら、文献資料に、玉に霊力を持つことがうかがえる記述がしばしばあるからです。それを踏まえると、立野4号墳から見つかった首飾りは、生前、被葬者(2)が玉に宿る霊力をその体に宿すために身につけていたものではないかなどと想像できます。この首飾りを身につけていたのは、一体どのような人物だったのでしょ

うか？
調査後、立野4号墳は貯水塔の建設のために取り壊されました。みなさんが、中部台公園に出かけたときに貯水塔を見かけたら、昔そこには古墳があって、首飾りを身につけた人物が眠っていた、ということに想いを馳せていただければと思います。(担当)

みなさん、左の写真1を見て下さい。これは何だと思いませんか？
—答えは、水晶製の勾玉と切子玉を紐でつないだ首飾りです。
この首飾りは、立野4号墳(立野町)から見つかりました。
立野4号墳は、中部台公園内に所在する立野古墳群をなす古墳のひとつで、今から約1400年前につくられました。平成25年4月から8月にかけて、貯水塔の建替えにともなう発掘調査が松阪市文化財センターによりおこなわれ、その結果、未盗掘の埋葬施設が3基発見されました。埋葬施設が未盗掘の状態で見られることは珍しく、未盗掘の古墳の発掘調査をおこなうのは、当時、松阪市としては浅間3号墳以来、20年ぶりのことでした。

埋葬施設(写真2)は長辺約4m、幅約50cmの大きさで、約50cmの間隔をあけて3基が平行して並んでいました。埋葬施設からは、須恵器・土師器といった土器や鉄刀・鉄鏃(1)といった金属製品などが見つかりました。

水晶製の首飾りが出土したのは、一番南側の埋葬施設です。首飾りを繋いでいた紐は、長い年月を経るうちに朽ち果ててしまったらしく見つかりませんでした。勾玉が先端にきて、それに輪のように連なる形で切子玉が見つかったことから、これらはひとつの首飾りだったと考えられています。

現代を生きる私たちは、首飾りというと金や銀などの貴金属あるいは宝石や真珠などのネックレスを思い浮かべます。そして、それを身につける大きな理由は、自分自身の見た目を飾ることでしょう。しかし、古墳時代を生きた人々が同様の理由だけで首飾りを身につけていたのかというと、そうとはいい切れません。なぜなら、文献資料に、玉に霊力を持つことがうかがえる記述がしばしばあるからです。それを踏まえると、立野4号墳から見つかった首飾りは、生前、被葬者(2)が玉に宿る霊力をその体に宿すために身につけていたものではないかなどと想像できます。この首飾りを身につけていたのは、一体どのような人物だったのでしょ



写真2 立野4号墳埋葬施設

(1) 鉄製の矢じり。(2) 埋葬された人物のこと。
※今回のにはにわ通信を書く際、『立野古墳群発掘調査報告』(松阪市教育委員会、2015年)を参考にしました。また、過去の「はにわ通信」は当文化財センターのホームページでご覧いただけます。

【冬季企画展「装飾品～きらり、甦る～」を開催します！】

松阪市文化財センターは、2月3日(土)から3月18日(日)まで、「はにわ館」第2展示室にて冬季企画展「装飾品～きらり、甦る～」を開催します。今回の企画展では、今月号で紹介した水晶製の首飾りをはじめ、松阪市内や三重県、大阪府で見つかったさまざまな装飾品を展示します。また、それに合わせて、2月3日(土)午後1時半から2時半まで「はにわ館」第2展示室にて当館学芸員によるミュージアムトークをおこないます。みなさま、ぜひお越しください。お待ちしております。(担当)

【はにわを楽しむ……】

実物の埴輪や図を見ながら、埴輪を作っていると、当時の工人たちの息遣いが伝わってくるようだと感じることもある。形を真似て作り始め、漸くしてそれなりのものができるようになると彼らの工夫や試行錯誤に気づくものがある。例えば、二重口縁壺はひっくり返して作ると作りやすい。彼らもそうやって作っていたのではないかと聞いたことがある。自分なりのやり方で作っていても、もしかしたら当時の人たちもよく似たやり方をしていたのではないか。作りながら、彼らの日常や埴輪に込めた思いを感じたいと思う。

また、かわいい埴輪もいい……。手のひらにのるぐらいのものをいくつか並べてみるとかわいい雰囲気になった。こんな楽しみ方もある。

2月のはにわ館では、常設展とともに冬季企画展「装飾品～きらり、甦る～」を開催します。市民ギャラリーでは子どもたちの絵、いけ花、陶芸などの展覧や市内公民館で活動されている皆さんの作品発表会「公民館まつり」が催されます。ぜひご覧ください。(所長)



文化財センター はにわ館 & ギャラリーの催し物予定

2月の休館日は5日(月)、13日(火)、19日(月)、26日(月)です。
開館時間は9:00～17:00です。

【はにわ館】 入館料100円(18歳以下無料) *入館は16:30まで

第1展示室	■常設展「宝塚古墳の謎」
第2展示室	■冬季企画展「装飾品～きらり、甦る～」 2/3(土)～3/18(日)
第2展示室	■ミュージアムトーク 2/3(土) 13:30～14:30

【ギャラリー】 入場無料

第2G	■勢風盆栽展 2/2(金)～2/4(日) 9:00～17:00 ※最終日は15:30まで
第2G	■あゆか展 2/8(木)～2/12(月) 9:30～17:00 ※最終日は16:00まで
第3G	■嬉洋会展 2/11(日)～2/18(日) 9:00～17:00 ※初日は12:00から、最終日は16:00まで
第1G	■陶嬉の会 作陶展 2/11(日)～2/18(日) 10:00～17:00 ※最終日は15:00まで
第2G	■華道家元池坊松阪橘会グループ花展 2/17(土)～2/18(日) 10:00～17:00 ※最終日は15:30まで
第1・2・3G	■公民館まつり 作品展示会 2/23(金)～2/25(日) 9:00～16:00

【イベント】
ワークショップ「勾玉づくり」 3/3(土)、3/4(日) 10:00～12:30(受付は正午まで)
※材料費(1セット)100円